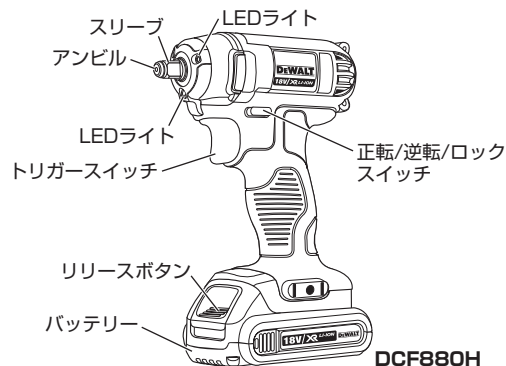
DEWALT®

デウォルト電動工具
取扱説明書

DCF880H
18Vコードレスインパクトレンチ

製品の各部名称と仕様

こだわりのデウォルト... 強靭な作業場を提供します。
デウォルトブランドの高品質・耐久性は現在、世界各国で圧倒的な支持を獲得しています。デウォルト電動工具は1922年アメリカ合衆国、レイモンド・デウォルトによって最初の卓上スライド丸ノコが開発されました。以来、石工、木工、金工用工具を問わず多数の工具を提供し、その耐久性はあらゆる作業場の要望にお応えし、満足していただいています。すべての工具はハイテクを駆使した弊社製造技術のもとに作られ、また出荷前の品質管理には万全を期しています。強靭な耐久性、作業の確実性、ハイパワーを作業場でお楽しみください。

仕　様

品　番	DCF880H
電圧	DC18V
回転数（回転／分）	0 ～ 2,300min^{-1}
打撃数（回／分）	0 ～ 2,700bpm
締付トルク	203N·m（2,070kgf·cm）
チャックサイズ	［　―　］
四角アンビル寸法	13mm（1/2in.）
質量（充電池含まず）	1.01kg

目　次

製品の各部名称と仕様

⚠ 警告	正しく安全にお使いいただく為に、ご使用の前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。 お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

電動工具をお取扱いの際には、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「障害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。

⚠	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

⚠ 警告　電動工具を安全にお使いいただくために。

この取扱説明書を大切に保管し、必要な時に備えてください。

◆作業場の環境について

- **明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。**散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。また、雨中や湿った場所など本体内部に水の入りやすいところでは使用しないでください。湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながります。
- **危険物のまわりでは決して作業しないでください。**通常、電動工具は使用中またはスイッチのオン・オフ時にスパーク（火花）が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。
- **お子様を近づけないでください。**お子様や外部の方、訪問者が電動工具に触れないようにしてください。作業場所は作業者以外、立入禁止にしてください。

◆個人的な警告事項

- **不用意なスイッチ・オンは決してしないでください。充電池を本体に差し込む前に必ずスイッチ・オフの状態であることを確認してください。**持ち運ぶ間はスイッチに手を触れないようにしましょう。スイッチが入ると不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
- **保護メガネや他の保護器具を必ず使用してください。**飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを 必ず着用してください。ホコリが大量に出る作業では健康のためにも防じんマスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴 の使用も必要です。

◆工具の使用と手入れ

- **加工材はしっかりと固定して作業してください。**クランプや万力などで加工材を固定してください。手で保持するよりも安全ですし、両手で電動工具を使用することは安全につながります。
- **スイッチが入らない、あるいは切れない場合は、ご使用を直ちに中止してください。**スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。所定のサービスセンターで修理してください。
- **電動工具の調節や刃物、ビット類の交換の際には、必ず充電池を本体から外してください。また、必ずスイッチがオフであることも確認してください。**こうした確認は不意に電動工具が作動して引き起こす事故を防止します。
- **指定の付属品、アタッチメントを使用してください。**デウォルト社製工具への使用を推薦していない付属品やアタッチメントの使用は危険をともなうことがあります。

⚠ 注意　電動工具を安全にお使いいただくために。

◆電気に関する安全事項

- **電源コードを乱暴に扱わないでください。**コードの部分を持って工具をぶら下げて持ち運んだり、コンセントから外す際にコードを引っぱったりしないでください。感電やショート等の原因となるので、コードを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なもので傷をつけないように注意してください。万一、誤って傷をつけた場合はその箇所に手を触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。傷ついたコードは火災を引き起こす危険性があります。

◆個人的な注意事項

- **常に注意して作業を行なってください。**電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して使用しないでください。使用時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。
- **作業に適した服装で作業を行なってください。**そで口の開いた服装や宝石類を身に付けないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧めします。長髪の方は作業の邪魔にならないようにしてください。
- **調整用キー、レンチ等は、使用時以外は必ず取り外してください。**スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認する習慣をつけてください。
- **無理な姿勢で作業をしないでください。**常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
- **電動工具に無理な力をかけないでください。**電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、所定の速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。
  決してモーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- **使用していない電動工具はお子様や初心者の方の手が届かない乾燥したところに保管してください。**電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。使用していない時は本体と充電池を別々に保管することも心がけてください。

◆工具の使用と手入れ

- **作業にあった電動工具を使用してください。**小型の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
- **指定された用途以外には使用しないでください。**けがの恐れがあります。

⚠ 注意　電動工具を安全にお使いいただくために。

- **損傷部品を点検してください。**引き続き使用する前に、安全カバーやその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されるかどうかを確認してください。可動部分の位置ずれや引っかかり、部品の破損、取り付け状態、その他に異常がないか点検してください。損傷した不良部品は、所定のサービスセンターで修理または交換してください。
- **電動工具と刃物類は、こまめに手入れをしてください。**安全で効率の良い作業をしていただくために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。電動工具は常に手入れのゆきとどいた状態で使用してください。

◆修理／メンテナンス

- **電動工具の修理は有資格技術者のみが行えます。**修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターの有資格者が行わなければなりません。
- **純正部品のみを使用してください。**十分な能力を発揮するために、修理メンテナンス、調整は、純正部品のみを使用して行なわなければなりません。

⚠ 警告　電動工具に関する安全上の追加事項。

- **壁や床に穴をあける際には、内部の電気配線や配管に注意してください。**感電や水漏れ、ガス漏れなどの事故を引き起こさないように十分調査してから作業を行なってください。壁裏などの通電中の配線を誤って切断した場合などに備え、二重絶縁されている本体のハンドル部分をつかんで作業を行なってください。通電中の配線に触れると、作業者が感電する危険性があります。
- **壁や床面を切断、もしくは電流の流れたワイヤーのあるところで、工具の金属部分には絶対にさわらないでください。**通電中のワイヤーを誤って切った場合、感電するのを防ぐために、二重絶縁されたハンドル部分でのみ工具をつかんでください。
- **手を作動中の刃物に近づけないでください。**作動中は絶対に刃物にふれたり、床などの上に置かないでください。作業は工具のハンド・グリップをしっかりとつかんで行なってください。手の指を刃物に近づけないように注意してください。
- **刃物類はよく切れる状態を保ってください。**切れない刃物の使用は、刃物が使用中にはずれたり、切断作業中に失速したりする原因となります。
- **木材の中には毒性の銅クロムヒ酸塩（CCA）が含まれるものがあります。**木材の穴あけ作業時、銅クロムヒ酸塩をあやまって吸い込んだり、肌にふれたりしないよう、細心の注意をはらってください。

⚠ 警告　電動工具に関する安全上の追加事項。

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

V	・・・・・・・・・・	電圧
⎓	・・・・・・・・・・	直流
⧈	・・・・・・・・・・	二重絶縁
⚠	・・・・・・・・・・	注意
no	・・・・・・・・・・	無負荷状態でのスピード
○○○min^{-1}	・・・・・・・・・・	1分毎の回転数
○○○bpm	・・・・・・・・・・	1分毎の打撃数

⚠ 警告　充電池と充電器に関する安全上の事項。

◆**下記の注意事項を全てお読みください。**

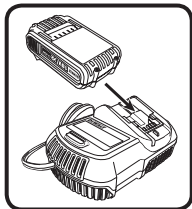
- **充電器の定格電圧が電源と一致していることを確認してください。**充電器の電圧は定格板に記載されています。
- **充電器は屋内のみで使用してください。**また、充電器を濡れた場所や、ちらかった場所では使用しないでください。特に水まわりの近くでの使用や、水の中に浸けたりしないでください。
- **充電器のコードやプラグ部分に損傷がある場合、**使用せず新しいものと交換してください。
  ※交換作業は、製造者もしくはその代理店又は同等の有資格者が行います。
- **充電器が衝撃、落下、その他何らかの原因で損傷した場合には使用せず、**所定のサービスセンターにお持ち込みください。
- **2個の充電器どうしをけっして一緒に接続しないでください。**
- **導電体の物を充電器の充電端子に接触させないよう十分注意してください。**充電器の充電端子には高電圧がかかっており、感電および感電死の恐れがあります。
- **充電池の表面にひび割れや損傷がみられる場合は、絶対に使用しないでください。**充電器に破損した充電池を差し込むと、感電および感電死の恐れがあります。
- **電源コードを乱暴に扱わないでください。**コンセントから電源プラグをはずすときは、コードを引っ張らないでください。電源コードの位置に気をくばってください。コードを踏みつけたり、つまずいたりすると危険ですし、コードを傷つけることになります。
- **充電器の上にものを絶対に置かないでください。柔らかいもの（例：綿、スポンジ等の材質）の上に充電器を置かないでください。**充電器の上部と底部に通気するための穴が切ってあります。穴をふさぐと、熱が充電器内にこもり、大変

⚠ 警告　充電池と充電器に関する安全上の事項。

危険です。充電器は熱のあるところをさけてご使用ください。

- **充電器を分解する試みは絶対にしないでください。**修理／メンテナンスは、所定のサービス・センターに依頼してください。発火したり、異常動作してケガをする恐れがあります。
- **充電器を掃除する際、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。**これは感電を防止するために必要な事項です。充電池を充電器から抜くだけでは、感電の防止にはなりません。
- **充電池を開ける試みは絶対にしないでください。**充電池本体にひびや傷へこみを発見した場合、再充電することなくすぐにご使用をおやめください。
- **周囲温度が4℃以上、及び40℃以下の環境下で充電池の充電を行ってください。また、温度が40度を超える場所に保管しないでください。**これは充電池に重大な損傷をあたえるのを防止するために必要な事項です。
- **充電池がひどく損傷していたり完全に消耗していても、焼却しないでください。**充電池が火の中で爆発する恐れがあります。過度な使用や極端な温度状況のもとでは、わずかな量の液もれが充電池から発生することがあります。もし外部シールが破れて漏れ出した液体が皮膚に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、最寄りの医療機関にご相談ください。
- **充電池の端子間を絶対にショートさせないでください。**ネジ、刃物、くぎなどの金属が充電池の充電用金属端子に接触してショートすることのないように注意してください。
- **充電池の充電は専用の充電器のみで行なってください。**誤った使用法は感電を引き起こしたり、充電池を加熱させたり、液漏れなどを引き起こす原因となります。取扱説明書に記載してある充電器でのみ、充電池を充電してください。
- **専用の充電池でのみ本製品をご利用ください。**他社製の充電池での本製品のご使用は、火災を引き起こす危険性があります。取扱説明書に記載している充電池でのみ、本製品をご使用ください。
- **充電中でないときは、プラグをコンセントから必ずはずしておいてください。**
- **延長コードにつないで使用しないでください。**
- **「充電上の注意事項」を必ずよくお読みください。**

充電の手順

◆充電のしかた

(1) 充電器の定格板に表示してある電源と、コンセントの電源が一致していることを確認してください。家庭用電源のコンセントに充電器の電源プラグを差込んでください。

(2) 充電池を充電器の差込み口に差込んでください。充電池がしっかりと差込み口にはまっているか確認してください。充電器が充電を始めると、赤い点滅灯が点滅しはじめます。これは、「充電中」を意味します。

(3) 充電が完了すると、点滅灯が光ったままになります。これは「充電完了」を意味します。充電終了後、充電器に充電池を放置したままにしても問題はありません。

ー ー ー ー ー	充電中
―――――	充電完了
ー・ー・ー・	バッテリー温度異常
･･････････	バッテリー不良

◆充電がうまく行われないときは

(1) 電源コンセントに電灯などの他の電気機具を接続して、確かに電流が来ているかを調べる。

(2) 電源コンセントが、壁の電源スイッチと連動しているか確認する。

(3) 周囲温度が＋4℃以上、および＋40℃以下の環境下で充電を行なったか確かめる。

(4) それでも充電されないときには、お買い上げの販売店にお買い上げ時のレシートなどと一緒にご持参のうえご相談ください。

⚠充電上の注意事項

● 充電中、充電器と充電池は触れると暖かく感じるようになります。これは正常な状態であって、問題はありません。

● 充電池を充電していないとき、充電器のプラグは電源コンセントからはずしておいてください。スチール・ウール（鉄綿）、アルミホイル、その他の金属切り粉等により、充電器の充電端子が短絡する危険性があります。また、これらの材質からはなれた場所で充電器を使用することを心がけてください。充電器のプラグは電源コンセントからはずした状態で、これら異物を取り払ってください。

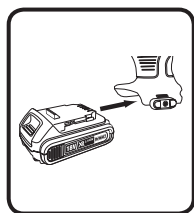
● どんな液体も充電器内に入らないように気をつけてください。感電を引き起こす可能性があります。充電池の冷却を容易にするため、ご使用の後、充電器と充電池は高温になる場所で保管しないでください。

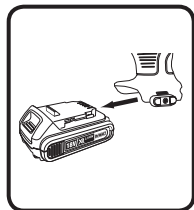
● 充電器は、お客様がご自身で修理することはできません。ご自身で充電器を開けられると静電気が発生し内部部品が故障する可能性があります。必ず所定のサービスセンターの有資格者に修理／メンテナンスを依頼してください。

製品の特色と使用方法

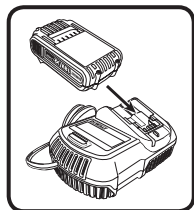
⚠デウォルト社製充電池は充電されていない状態で出荷されます。最初にご使用のときは、ご使用前に必ず充電を十分にしてください。

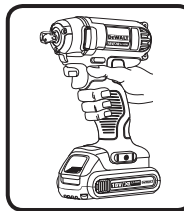
⚠ 警告	充電池を本機に取り付ける前に、必ずスイッチが切れている状態で正転／逆転／ロックスイッチが中央の位置にセットされていることを確認してください。

◆電池の取り付け方／取りはずし方

充電池を本機に取り付けるとき、充電池の向きが工具ハンドル部分下にある挿入口と合っていることを確認し、「カチン」としっかりはまるまで電池を差し込んでください。

⚠充電池が十分充電されていることを確認してから本品をお使いください。

充電池を工具から取り外すとき、充電池の前面にあるリリース・ボタンを押したまま、充電池を下に引きますと工具から外れます。

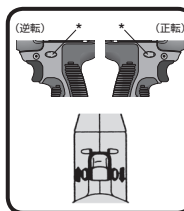
⚠充電池を充電する際、「充電の手順」の項に従って充電してください。

◆再充電

いつものような仕事をさせたときに工具が力強く作動しない場合は絶対に使用せず、再充電してください。以前に少しだけ使用した充電池も、ご使用の前に再充電することを心がけてください。

◆トリガースイッチ

左図のように、トリガー（引き金）スイッチを引くと作動します。またトリガースイッチを放せば止まります。トリガースイッチには無段変速機能が組み込まれていますので、強く引くと高速、弱く引くと低速というように速度を調節できます。作業の内容によってトリガーの引き具合で速度を調節できるので大変便利です。

本機にはトリガースイッチを離すと一秒以内に回転が完全停止する機能がついています。ネジ締めや穴開けの角度を修正したり、ネジ締めや穴開け作業の量をこなす時などに大変便利です。

◆正転／逆転／ロックスイッチ

正転／逆転／ロックスイッチ*を左側から一杯に押すと正転します。ロックスイッチを右側から一杯に押すと逆転します。このスイッチを中央位置にセットしておくと、トリガースイッチがロックされて動かなくなります。使用しないときは、ロックをかけた状態にしておいてください。

- ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
- 正転／逆転／ロックの切り替えは、モーターの回転が完全に停止した状態で行なってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。

ご使用に際し、各都道府県などの条例で定める工場でご使用になる場合には、周囲に迷惑をかけないよう各条例で定める騒音規制値以下であることが必要です。必要に応じて遮音壁を設けてください。

◆LEDライト

本製品にはLEDライトが3灯ついています。
トリガースイッチを引くと点灯し、離すと消灯します。

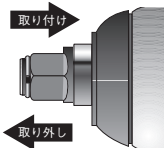
◆ソケットの取り付け・取り外し方

⚠本製品にはソケットは付属しておりません。作業の際には用途に適した市販品を必ずご使用ください。

⚠ **警告** ソケットなどの取り付け・取り外しの際には必ず本体から充電池を取り外してください。本体が作動して、けがの恐れがあります。

⚠ソケットにヒビ、ワレが無いことを確認してください。ソケットが破損し、けがの恐れがあります。

(1) 取り付ける場合は、ソケットを本体先端部のアンビルに合わせて差し込んでください。

(2) 取り外す場合は、ソケットを本体先端部のアンビルから引き抜いてください。

メンテナンス

製品の掃除には、から拭き、水またはぬるま湯でうすめた中性洗剤を湿らせた布で表面を拭いてください。テレピン油、ペイント用シンナー等の薬品は使用しないでください。製品内部に液体の入らないように、また製品本体を液体に浸けないように十分注意してください。

⚠ **注意** 本機のメンテナンスをする際は、必ず充電池を抜いて行ってください。

アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターにて有資格者が純正部品を使用して行わなければなりません。必ずお買い上げの販売店または当社認定サービスセンターまでご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やケガの恐れがあります。

♻ 充電電池と環境

Li-ion

リチウムイオン電池はリサイクルへ

デウォルト社製コードレス電動工具に使用している充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電池や製品の廃棄の際には、下記の手順に従いリサイクルにご協力ください。

(1) 充電池の寿命がなくなるまで使いきってから充電池を交換してください（充電池には寿命があります）。

(2) お買い求めの販売店または所定のサービスセンターにお持ちください。

アクセサリー

本製品用の付属品は各販売店もしくは所定のサービスセンターにて販売しております。また付属品やアタッチメントについてのお問い合わせは、販売店または所定のサービスセンターまでご連絡ください。

⚠当社の認定しない付属品やアタッチメントのご使用は、事故やケガの原因になる恐れがあります。ご使用にならないでください。

輸入元

ポップリベット・ファスナー株式会社

デウォルト事業部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 1-11-22　山種池袋ビル 4F

TEL：03-5979-5777

N332601 08/2013